専門研修プログラム名	愛媛大学精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	愛媛大学	
プログラム統括責任者	上野修一	

専門研修プログラムの概要	穏やかな瀬戸内海と霊峰石鎚をはじめとする山々に囲まれ、1年を通して温暖で過ごしやすい愛媛県。その県庁所在地であり、秋山兄弟など近代日本の立役者に縁があり道後温泉でも有名な松山市に隣接する東温市に愛媛大学附属病院がある。我が精神神経科学教室は、多くの諸先輩方と地域の人々に支えられ、本学の理念である「患者から学び患者に還元する教育、研究、医療」を日々実践している。また、臨床を基本として、医師のみならず心理士や精神保健福祉士、言語聴覚士、 作業療法士などの多職種を交えた研究や検討会、カンファレンスを随時行っている。こうした疾患へのアプローチが、神経化学や神経心理学、児童青年期など多岐にわたっていることも当教室の特徴と言える。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	基幹病院となる愛媛大学附属病院は、大学病院精神科として４０床のベッドを有し、閉鎖病棟、隔離室、観察室も十分なスペースを確保している。愛媛県では、当院にしか有床の総合病院精神科が存在しないため、県全域から紹介される難治例、摂食障害やアルコール・薬物依存症などの身体合併症例のほとんどのケースに対応している。専攻医は入院患者の主治医となり、教員の指導を受けながら、看護、心理、リハビリテーションの各領域とチームを組み、各種精神疾患に対し、生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気けいれん療法などの治療を柔軟に組み合わせ、患者にとって最善の治療を行っている。「子供のこころセンター」や「認知症疾患医療センター」なども設置しており、研修の過程で児童から老人までほとんどの精神疾患、治療についての基礎的な知識を身につけることが可能である。また、双岩病院、松山記念病院、松風病院、十全ユリノキ病院、財団新居浜病院、正光会今治病院、堀江病院、正光会宇和島病院、松山赤十字病院、牧病院、愛媛県心と体の健康センター、平成病院、久米病院、真光園といった県全域の医療機関を連携施設として有しており、専攻医はこれらの施設をローテートしながら研鑽を積み、臨床精神科医としての実力を向上させつつ、専門医を取得することが可能である。また2020年度からは熊本大学病院神経精神科や福岡大学病院精神神経科との交流プログラムも開始し、幅広い臨床経験が積めるようになっている。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	専門医にふさわしい精神医学の知識と治療技能を有し、常に患者から学び患者に還元する医療を目指す誠実な態度を身に着けていただきます。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	回診や医局勉強会、研究グループカンファなどの各種カンファレンスに積極的に参加して専門医にふさわしい知識やプレゼンテーションの技能を習得していただきます。
	学問的姿勢	常に患者から学ぶ姿勢を保ち、最新の文献検索や論文執筆などを通して患者に還元できるように指導します。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	精神科医として患者の人権に十分配慮することはもちろんのこと、患者やその家族から信頼を得られるような高い倫理性を身に着けていただきます。

施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	初年度は大学病院において研修し、2年目と3年目は地域医療を支える関連病院において豊富な臨床経験を積んでいただきます。初年度に3年間の計画をお示しします。
	研修施設群と研修プログラム	研修施設群は愛媛県内でも東予、中予、南予の幅広い地域に存在しています。
	地域医療について	愛媛県内の精神医療を支える地域医療を重視しています。
専門研修の評価	専門研修の評価は研修実績管理のシステムを介して定期的に行うとともに、プログラム管理委員会において総合的に評価します。	
修了判定	終了判定はプログラム管理委員会にて行います。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	少なくとも年1回は開催して先行医の状況報告やプログラムに関する問題点、先行医および指導医から提出された評価報告書に基づく助言、終了判定などを行います。
	専攻医の就業環境	先行医は各連携施設において常勤医として研修します。
	専門研修プログラムの改善	プログラム管理委員会の場で定期的に改善します。
	専攻医の採用と修了	統括責任者が管理委員会での話し合いに基づいて最終的に決定します。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	やむを得ない事情で研修の休止・中断、プログラムの移動などが必要な場合には柔軟に対応します。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	必要に応じて行います。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	上野修一：愛媛大学・教授　伊賀淳一：愛媛大学・准教授　堀内史枝：愛媛大学・教授、河邉憲太郎：愛媛大学・准教授	
Subspecialty領域との連続性	日本児童青年精神医学会認定医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、日本老年精神医学会専門医、日本総合病院精神医学会専門医などが取得可能です。	